

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公開番号】特開2006-195099(P2006-195099A)

【公開日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-029

【出願番号】特願2005-5744(P2005-5744)

【国際特許分類】

G 03 G 9/12 (2006.01)

B 01 J 13/00 (2006.01)

【F I】

G 03 G 9/12

B 01 J 13/00

B

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月26日(2007.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水系分散媒中に、樹脂材料を含む分散質が分散した水系分散液を得る工程と、  
前記水系分散液を噴霧して、前記水系分散媒を除去するとともに前記水系分散媒が除去  
されたトナー粒子を絶縁性液体中に分散させる工程と、  
を有することを特徴とする液体現像剤の製造方法。

【請求項2】

前記トナー粒子は、前記樹脂材料の吸水量以上の水分を含む請求項1に記載の液体現像  
剤の製造方法。

【請求項3】

前記トナー粒子の含水量は、0.3~5.0wt%である請求項1または2に記載の液体現像  
剤の製造方法。

【請求項4】

前記水系分散液は、乳化重合法により製造された微粒子を、前記分散質として含むもの  
である請求項1ないし3のいずれか1項に記載の液体現像剤の製造方法。

【請求項5】

前記水系分散液の噴霧は、前記水系分散液の液滴を間欠的に吐出することにより行う請  
求項1ないし4のいずれか1項に記載の液体現像剤の製造方法。

【請求項6】

水系分散媒中に、樹脂材料を含む分散質が分散した水系分散液を得る工程と、  
前記水系分散液を噴霧して、前記水系分散媒を除去するとともに前記水系分散媒が除去  
されたトナー粒子を絶縁性液体中に分散させる工程と、  
により製造されたことを特徴とする液体現像剤。